

消防学校 ニュース



令和8年2月号

消防職員特別教育 指令センター員講習(第8回) ～指令業務は人命救助の最前線～

1月13日(火)から1月16日(金)まで、消防職員特別教育指令センター員講習を実施し、県内消防本部(局)から16人の通信指令業務従事者が入校しました。

本講習は、通信指令業務に携わる職員が、組織や地域の枠を越えて経験や先進的な取り組みに関する情報を共有し議論を重ねるといった機会がないことや、通信指令業務に特化した専門的な教育を受ける機会がない現状を踏まえ、通信指令員の知識・技術の向上を図り、生命・身体・財産を守るという消防活動全般のレベル向上を目的としています。

4日間の短期講習でしたが、指令センター員として必要なスキル向上のために、多岐にわたる講義、多様な模擬訓練を実施しました。



座学講習



模擬通報訓練



図上訓練(システムダウン想定)



受講生 16人

【担当教官コメント】

指令員の皆様には、高度なシミュレーション訓練を通じて、通報者への口頭指導や現場隊員への的確な情報伝達など、実戦に即した応用力を磨いていただきました。

講習の中で交わされた活発な意見交換は、組織の枠を超えた貴重な財産となったはずです。現場と指令センターは、一つのチームです。皆様の「声」には、市民の安心と現場へ向かう隊員たちの安全がかかっています。本校での学びを胸に、これからも消防の「司令塔」として、それぞれの持ち場での御活躍を祈念いたします。

教務課主査 蛭間 淳(静岡市消防局から派遣)

消防職員特別教育 実践的大規模災害対応講習（第8回）

2月4日（水）から2月6日（金）まで、消防職員特別教育実践的大規模災害対応講習を実施し、県内13消防本部（局）から18人の学生が入校しました。

本講習の目的は、大規模災害発生時において必要な情報収集能力及び指揮能力を習得するとともに、的確な安全管理の下、円滑に活動が遂行できる専門的な知識及び技術を習得することとしています。



大規模災害図上訓練



大船渡市林野火災（合同聴講）



医療と消防の連携



グループワーク（受援計画比較）



緊急消防援助隊受援図上訓練



受講生と担当教官

（担当教官コメント）

本講習を実施するにあたり、大規模災害発生時に必要な知識の習得を目的に、カリキュラムを構成しました。

期間中は、学生が積極的に質問する姿や互いに情報交換する場面が印象的で、各自が高い意識を持って講習に取り組まれていると感じました。また、今年度から緊急消防援助隊受援アドバイザーの協力を得て、広域応援要請時のスキームを学ぶことを目的とした図上訓練を取り入れました。各消防本部の受援計画をはじめとする各種計画等を理解するとともに、応援要請決断後の速やかな要請手続きにつながればと思います。

本講習での学びと学生同士のつながりが、大規模災害対応に生かされることを願っております。

教務課主査 山口 知宏（浜松市消防局から派遣）

消防団員特別教育 災害対策講習（第22回）

1月25日（日）に災害対策講習を実施し、県内消防団から58人が受講しました。

近年、気候変動の影響等により自然災害が激甚化・頻発化していることから、風水害対応図上訓練（消防団員向けに応用した「風水害対応イメージTEN」）、ドローン基礎研修（座学・実技）、土砂災害対応訓練（応急土留め設定・重量物除去）といった自然災害に対応した訓練を実施しました。



（担当教官コメント）

昨年は、本県において台風第15号による猛烈な雨や国内最大級の竜巻等で、牧之原市を中心に人的・物的両面で多くの被害がありました。毎年のように台風による豪雨災害が発生し、自然災害に対応した消防団活動が求められています。

受講者の皆様には、講習で得た知識や技術を所属の団で共有していただき、地域防災力の更なる充実強化につなげていただきたいと思います。

教務課主任 青木 宏人（県職員）

白鳥校長の一言（時事雑感）

消防職員意見発表会

去る1月16日、浜松市のアクトシティにおいて「第33回静岡県消防職員意見発表会」が開催されました。小職も及ばずながら審査員のお役をいただき、各消防本部から選抜された10名の代表者による熱い意見発表を聞かせていただきました。

各発表者の持ち時間は5分間。各々の体験に基づき、より良い消防組織や地域防災のあり方を語る姿に、深い感銘を受けました。

私も立場上、人前でスピーチする機会が多いのですが、原稿に目を伏せることなく、話をするのがいかに大変であるかが分かります。それだけに、弁士一人ひとりの堂々とした、しかも表現力に磨きかけた意見発表の陰に、どれほどの準備と努力があったのだろうかと思像します。発表者と裏で支えられた関係者の皆様に等しく、心から敬意を表します。

かつて（昭和の時代）、成人の日の行事として行われた「NHK青年の主張コンクール」を視聴した記憶と重なりました。将来を担う若者が真摯に未来を見据えるその姿は、時代を超えても変わらないのだなと感じるとともに、若い力が消防の現場を支えてくれていると思うにつけ、有難く、頼もしく思います。今回の発表者それぞれの提案が具体化され、今後の地域の安全・安心を確かに支える力になってほしいと願わずにはおられません。

恒例となっている意見発表は、より多くの消防関係者に聞いていただけたらと思います。各弁論に宿る「志」が多くの方と共有され、ともに未来の消防を創ってほしいと期待しているからです。最後に、今回このように貴重な機会を与えてくださった主催者及び関係者の皆様に改めて感謝を申し上げる次第です。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX 054-369-1197 E-mail fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

